

那須塩原データ連携基盤の構築及びデジタルサービスとの連携開始について

概要

デジタル田園都市国家構想交付金採択事業としてデータ連携基盤を構築し、3月から4つの既存のデジタルサービスとパーソナルデータ（個人に紐づく情報）の連携を開始しました。連携することで、共通 ID によるサービスのログインや一人ひとりに合わせた情報発信が可能となります。

■内容・スケジュール

〈データ連携基盤と接続するデジタルサービス〉

- ①地域ポータル：コミュニティ内の情報連絡用アプリ。令和 5 年度は箒根学園で導入し保護者とのお知らせツールとして活用。令和 6 年度は全小・中・義務教育学校で導入し、自治会等へも展開予定。
- ②エンジョイ eco なすしおばら：那須塩原エコポイントをアプリ化し脱炭素につながる取組等に対してポイントを付与。貯めたポイントは特典と交換可能。
- ③母子手帳アプリ みるみる：妊娠中の健康管理や子どもの成長記録、予防接種等のスケジュール管理ができるほか、市からの子育て情報をタイムリーに受信できる。
- ④なすしおばら観光パスポート：観光スポットの紹介やお得なクーポンを配信。ラーメンマップなど観光客だけでなく市民にもうれしい情報が満載。

〈データ連携基盤との接続による効果〉

- ・マイナンバーカードを利用して作成する共通 ID (xID) によるサービスログインが可能となり、サービスごとのアカウント作成が不要
- ・各サービスのデータを連携・分析することで、付加価値を創出したり、様々な施策に活用することが可能
- 例：①災害が起きた際、連携されている災害情報を基に、観光パスポートで観光客向けの避難所情報を発信
- ②利用しているサービス情報を基に、個人の趣味趣向に合わせた情報を地域ポータルで発信
- ・蓄積した情報のオープンデータ化、分析、民間利用が可能に。

〈これまでの経過〉

- ・令和 5 年 4 月 デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ TYPE2）採択
<https://www.chisou.go.jp/sousei/about/mirai/policy/gaiyou/pdf/type2gaiyou.pdf>
- ・令和 5 年 1 1 月 非パーソナルデータ連携開始
- ・令和 6 年 3 月 パーソナルデータ連携開始

■取材ポイント

- ・自治体によるデータ連携基盤の構築は県内初。
- ・令和 6 年度には健康ポイントアプリの連携も予定。（デジタル田園都市国家構想交付金 TYPE1 申請中）

参考



那須塩原市ホームページ

<https://www.city.nasushiobara.tochigi.jp/soshikikarasagasu/digitalsuishinka/torikumi/18025.html>

那須塩原市データカタログサイト

<https://data-catalog.nasushiobara-connect.jp/>

那須塩原市データ分析サイト

<https://public.tableau.com/app/profile/NasushiobaraConnect/vizzes>

那須塩原市 API カタログサイト

<https://api-catalog.nasushiobara-connect.jp/>